

東総支部所属チーム
保護者各位

令和2年8月20日
東総ミニバスケットボール連盟
会長 石毛 健

東総支部秋季大会開催についてのお願い

拝啓 残暑の候 保護者の皆様方におかれましては、日頃より東総支部の活動に対しての温かいご理解とご協力に、心から御礼を申し上げます。

さて、各チーム指導者からご連絡があったかと思いますが、東総支部秋季大会を9月13日(日)と9月22日(祝)の2日に亘り開催いたします。

今年度の大会は、新型コロナウイルスの感染防止を最優先に考えての開催になります。

開催にあたりましては、日本バスケットボール協会や千葉県協会の指針に基づき、感染防止対策を講じてまいります。子供たちが安心してプレーし、安全な大会を運営するためにも、保護者の皆様のご協力は必要不可欠です。

詳細なお願いを下記にまとめました。重ねてご理解ご協力をお願いします。

敬具

記

1. 会場への入場について

- ① 会場に入れる人数は、特例として各チーム最大34名とする。
尚、34名の内訳は、ベンチ入りの選手15名・指導者4名を含むものとする。
例1：選手15名・指導者4名・保護者15名まで可
例2：選手12名・指導者2名・保護者20名まで可
例3：選手20名(ベンチ15名)・指導者4名・保護者10名まで可
- ② 入場予定者は、別紙健康チェックシートを提出する。(提出の無い者の入場は認めない)
- ③ 健康チェックシートは感染予防担当者(※)が取りまとめ、入場時に受付に提出する。
- ④ チーム所属の児童以外の入場は認めない。
(選手の弟・妹は不可。乳児であっても例外ではない)
- ⑤ 入場の際は必ずマスクを着用する。
- ⑥ 各チームの入場時間は別紙組み合わせ表の通り。時間を厳守する事。

2. チーム毎の感染予防の徹底

- ① チーム毎に感染予防担当者(※)を置く。
- ② 感染予防担当者は、受付時に入場者分のチェックシートをまとめて提出する。
- ③ チーム毎に消毒薬を携行し、退席時にはシートの消毒を行う。
- ④ 入退出時には手指の消毒を行う。
- ⑤ 施設内の扉・スイッチ等には触れない。

次ページに続く

3. 観戦時の注意点

- ① 観戦席は別紙八日市場ドーム座席表を参照の事。
- ② 観戦時はマスク着用の事。
- ③ 応援は拍手のみ。声を出しての応援は認めない。
- ④ 館内での飲食に制限はないが、密にならないよう十分な間隔をとること。

4. 大会参加への自由意志と選手への配慮

コロナウィルスの感染リスクが常態化している中での大会です。

今後の状況次第ではこの大会が今年度最後の大会になるとも限りません。

ですから、万全の対策を講じつつ、可能な限り保護者の皆様にも子供たちの頑張る姿を見ていただきたい。入場制限の34名は、その思いを数字にしたものです。保護者の観戦人数が少な過ぎると思われる方もいらっしゃるでしょうが、何卒ご理解ください。

また、やはりこの状況下で大会に参加することが不安だと思われる方は、今一度所属チームの指導者にご相談ください。

大会参加はあくまでも個人の自由意志です。参加を強制する事はあってはなりませんし、また仮に不参加の場合、それを非難される事があってはなりません。

以上

東総支部内チーム活動についてのガイドライン

新型コロナウイルスの流行が確認されてから今日まで、皆さまにおかれましては、チーム運営に大変なご苦勞をされていることと推察いたします。

チーム活動の再開については、去る6月8日「JBAバスケットボール活動再開に向けたガイドライン（手引き）」と7月19日「今後の県内チームにおける活動について」が配信されております。

本来は、この指針に則った形で活動を再開すべきかとは思いますが、この東総地域の現状と特性を考慮し、東総支部独自のガイドラインを策定し、当面の活動の指針といたしますので、チーム指導者及び、団員・保護者全員に周知して頂きますようお願い申し上げます。

1. チーム活動再開に向けての段階と目安

8月1日から8月14日まで

東総支部内での近隣地区での交流を可能とする。

移動距離を極力短くするために、同一市内及び、隣接した自治体のみの交流を可能とする。

例：匝瑳市と旭市・旭市と銚子市は可 匝瑳市と銚子市は不可

8月15日以降

東総支部内での交流を可能とする。また隣接する支部のみ交流を認める

東総支部内並びに、隣接する支部であれば、交流に制限を求めない。

但し、会場内の「密」を避けるため、一会場に、3チームまでとする。

（会場が大きな施設であれば、この限りでは無い）

例：香取・山武支部とは可 千葉支部は不可

※ 今後の活動規模は、社会情勢・政府方針並びに各自治体の判断をもとに、常任理事会で決定して各チームにご連絡いたします。

2. 健康観察表の記録

各チームで、日頃から健康観察を十分に行い、記録を残してください。

各学校で取り組んでいる健康観察表を参考にチーム毎に作成し、保管をお願いします。

チーム内で感染者や濃厚接触者が発生した場合、調査が入る可能性があります。

（出席表と観察表を合わせて3か月分を保管。指導者・参加する保護者も検温と健康観察を。）

3. 対外試合についての留意点

以下は、東総支部が主催する大会・東総支部所属チームが主幹する練習試合等においての方針です。県大会・他支部の主催する大会等については、各主催者の定めに従って下さい。

1. 参加可能条件

- ・朝の検温観察において、発熱がなく健康状態に問題がない者
- ・同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいない者

2. 参加者

- ・会場施設内に入れるのは、選手・指導者と引率の保護者2名までとする。

※但し、秋季大会においては特例として下記の条件のもと保護者の入場・観戦を許可する。

- a.1 チームの入場可能人数は、最大34名まで（ベンチ入りの選手15名・指導者4名を含む）
- b.原則として1児童に対して応援の保護者は1名までとする。
- c.チームに所属しない児童の入場は認めない。
- d.入場を希望する者は全員、所定の健康チェックシートに必要事項を記入し、大会当日に提出する事。（8月29日～9月13日当日まで毎日検温する）提出がない場合、入場は認めない。
- e.入場の際には必ずマスク着用の事。声を出しての応援は不可。間隔をあけて着席の事。

3. 施設利用と参加人数

- ・施設内（体育館）の人数が密にならないよう、ゲームを行う2チームとTOの1チームの合計3チームを原則とする。
但し、市営体育館等の大きな施設ではこの限りでは無い。
- ・学校施設を使用する際は、使用後の消毒を徹底する。
- ・控室・更衣室は密にならないよう、交代で利用する等入室の人数を調整する。

4. 試合中の注意点

- ・相手チームとの握手はしない。試合後の相手チームへの挨拶をしない。
- ・円陣を組まない。
- ・ベンチではマスク着用。応援はなし。
- ・ベンチの椅子の間隔を出来るだけ空け、選手は間隔をあけて座る。
- ・TOはマスクを着用する

5. 感染予防について

- ・施設への入・退出時の手指の消毒を徹底する。
- ・施設の扉・電気のスイッチ等には触らない。
- ・換気を十分に行う。
- ・ウォーターボトル・タオルを共有しない。備品・ビブスの共有も不可
- ・試合以外は、十分な距離の確保を行う。

6. 活動参加への自由意志と選手への配慮

選手ならびにチーム関係者が活動に参加するか否かは、あくまでも個人の自由意思によるものです。コロナウィルスの感染リスクが常態化している中での活動再開でありますから、活動に参加する事や施設への移動に伴う感染リスクを理由に、活動参加の辞退を希望する人がいるかもしれません。そのような場合はその希望を受け入れてください。改めて参加を希望したときに安心して活動に参加できるよう、配慮願います。活動への参加の強制や、参加していないことによる練習の遅れなどから非難される事があってはなりません。